

歯科疾患実態調査の概況要旨

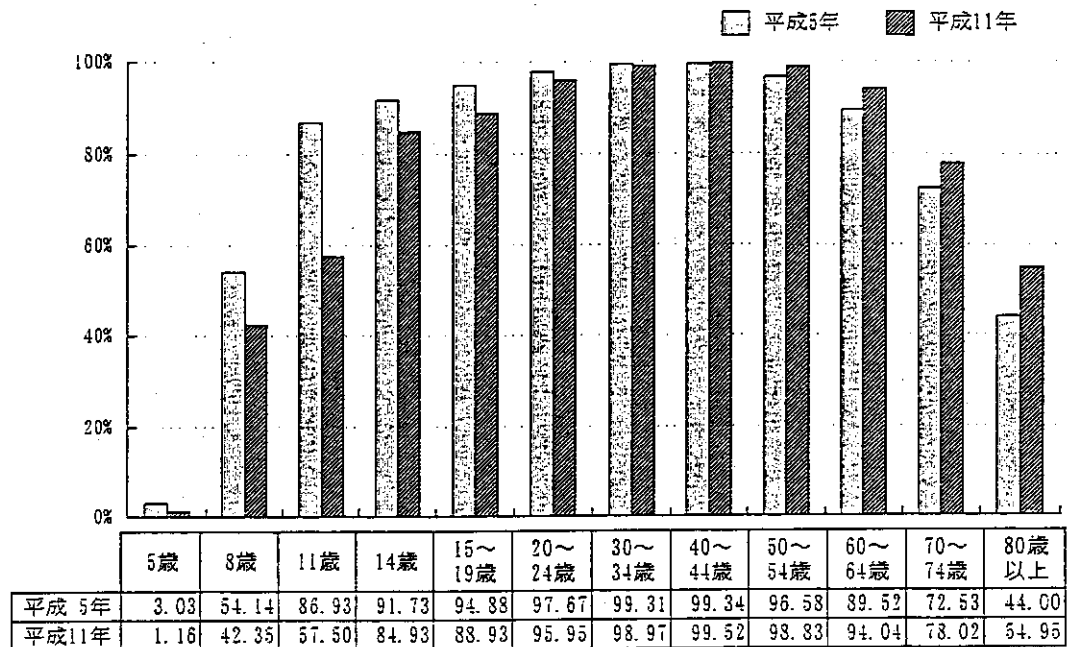
厚生省健康政策局歯科保健課

電話 03-3503-1711(内 2584,2582)

○ むし歯の状況

むし歯になっている者は、平成5年の調査に比べ、低年齢の者で減少。

う蝕有病者率の年次推移，年齢別（永久歯）

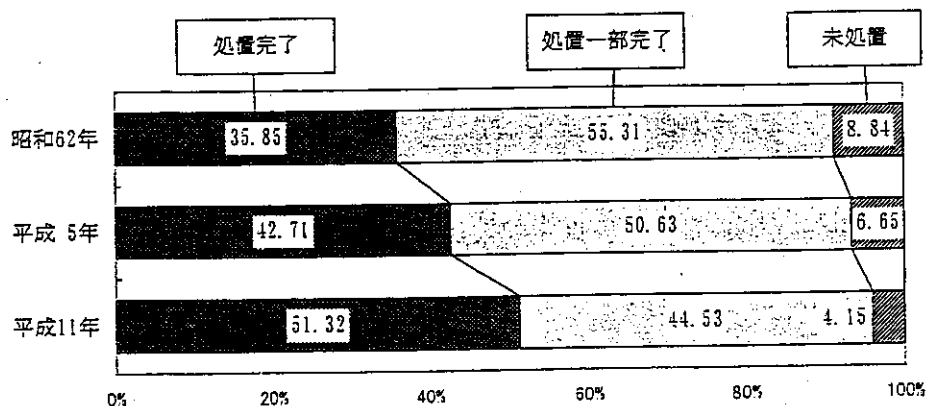


注：平成11年の未処置歯の診断基準は、前回調査の診断基準とは異なる。

○ むし歯の処置状況

むし歯の処置を完了した者が増加している。処置完了者は永久歯で51.32%

処置状況別にみたう蝕有病者率の年次推移（永久歯）

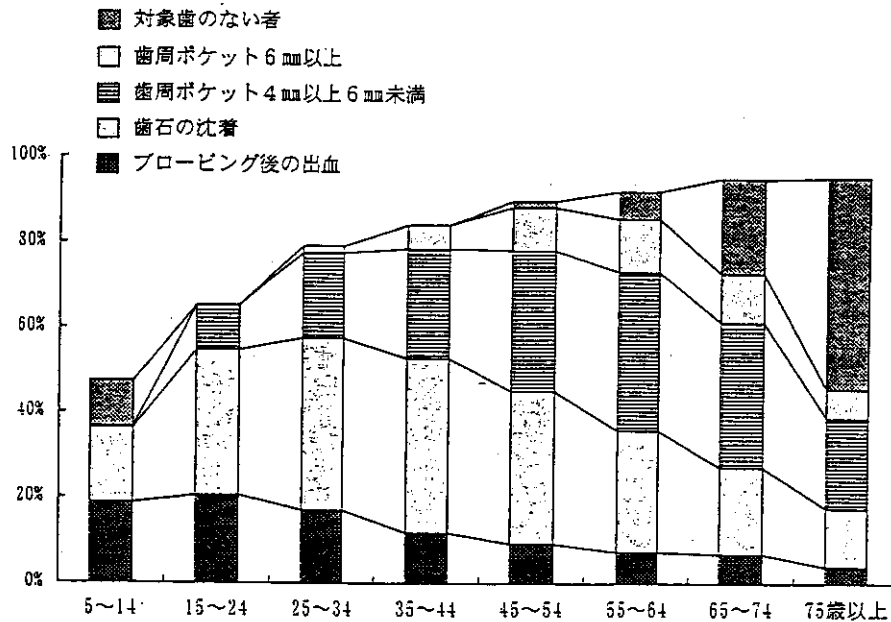


注：平成11年の未処置歯の診断基準は、前回調査の診断基準とは異なる。

○ 歯周疾患の状況

歯肉に所見のある者は、72.9 %、年齢階級別では、45—54歳の者で最も多く、88.4 %である。

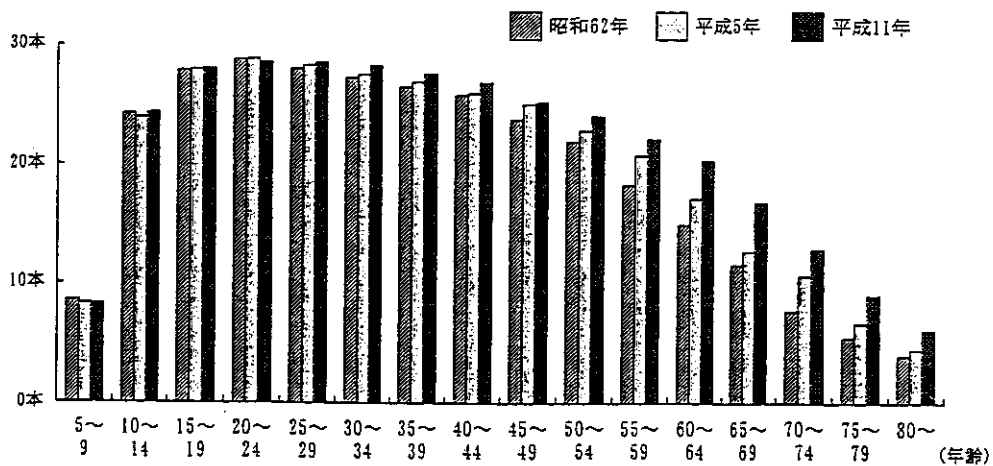
歯肉の所見の有無、年齢階級別（永久歯）



○ 現在残っている歯の状況

現在残っている歯の数は、昭和62年に比較して、増加傾向。80歳での現在歯数は、8.2本（推定値）。

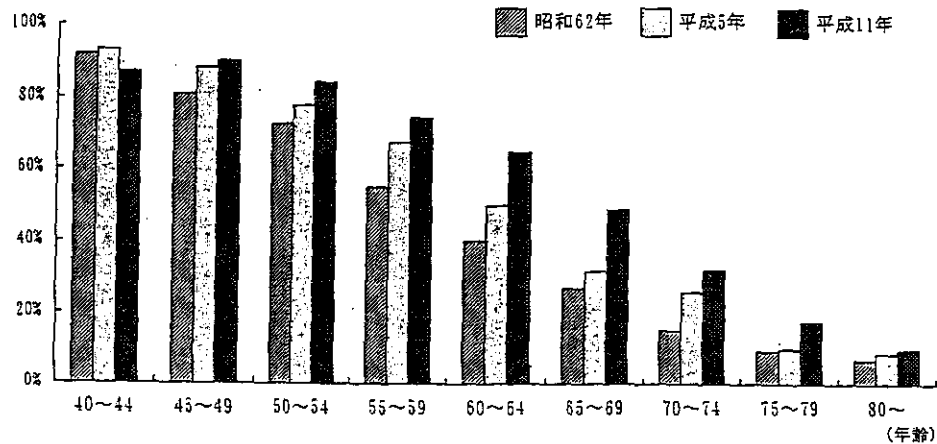
1人平均現在歯数の年次推移



○ 20 歯以上の歯を有する者

20 歯以上の歯を有する者は、40 歳以上の年齢層で昭和 62 年の調査に比較し増加傾向。80 歳で 20 歯以上有する者の割合（推定値）は 15.3 %

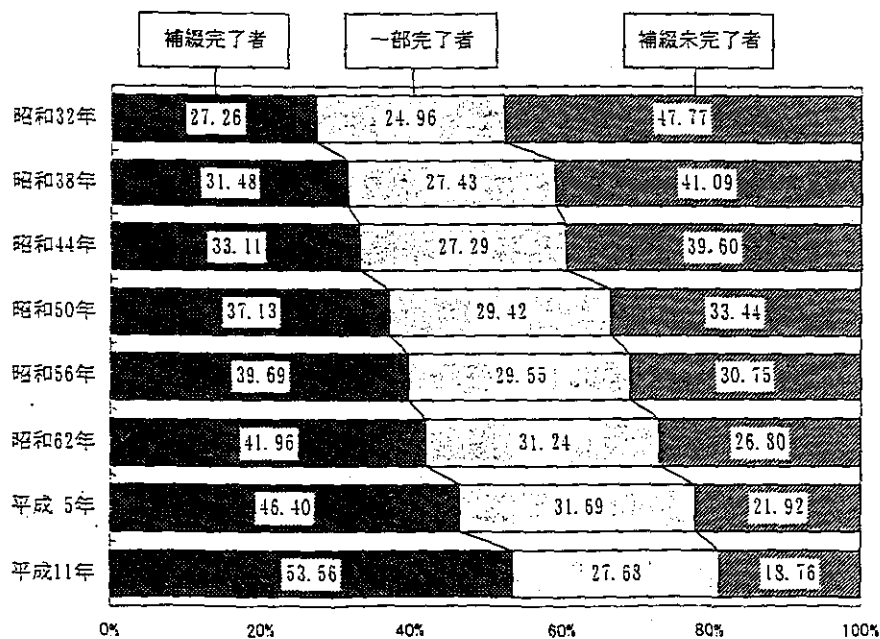
20 歯以上有する者の割合年次推移



○ 補綴（義歯装着）の状況

昭和 32 年以来、調査を重ねるごとに補綴（義歯装着）の完了している者の割合が年々増加。補綴（義歯装着）完了者は 53.6 % である。

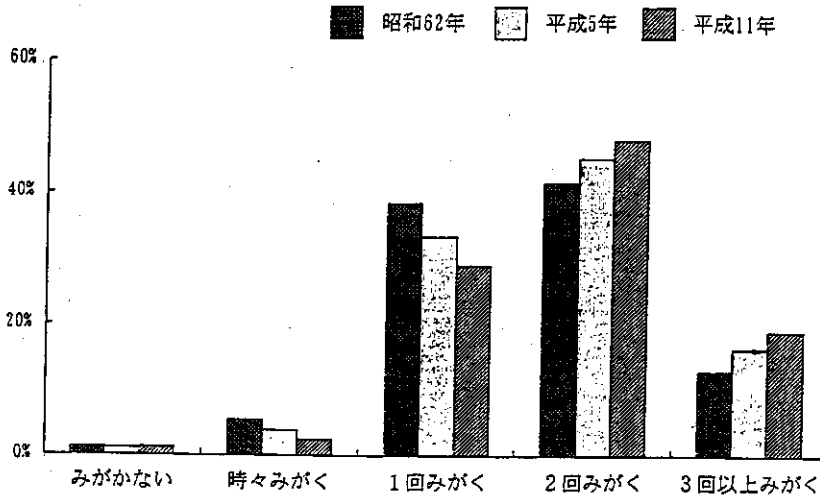
補綴状況の年次推移



○ 歯をみがく者の状況

昭和62年以来、「2回または3回以上」歯をみがく者が増加
2回または3回以上歯をみがいている者は67.1%である。

歯ブラシ使用状況の年次推移、回数別



○ フッ化物の塗布状況

フッ化物の塗布を受けたことがある者は、昭和44年の調査^{以来}依頼増加
傾向。フッ化物の塗布を受けたことがある者は42.0%である。

フッ化物塗布受診者の年次推移

